

授業科目	神経系の解剖学				
担当者	柴田 雅朗・赤松香奈子				(オムニバス)
実務経験者の概要					
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

中枢神経系および末梢神経系の各部について学習し、運動や感覚の伝わる経路（伝導路）について学ぶ。

## ■ 到達目標

中枢神経系および末梢神経系を構成している各部の名称や機能を説明でき、上行性および下行性伝導路の種類と各伝導路の主要な部位が分かる。これらは専門領域で学ぶ神経系疾患、リハビリテーションの理解の基礎となる。

## ■ 授業計画

- 第1回 髄膜（硬膜、クモ膜、軟膜）、クモ膜下腔、各脳室、脳脊髄液、腰椎穿刺（赤松）
- 第2回 脊髄：各部の名称、前根、後根  
大脳：1. 溝、回、葉 2. 大脳皮質 3. ブロードマン野（赤松）
- 第3回 大脳（続き）：1. 運動野 2. 体性感覚野 3. 優位半球 4. 神経線維の種類（赤松）
- 第4回 大脳（続き）：1. 大脳基底核（機能、構造、障害） 2. 内包（構造、血管分布、脳卒中）（赤松）
- 第5回 大脳（続き）：1. 扁桃核  
間脳：1. 視床 2. 視床下部（赤松）
- 第6回 中脳：1. 中脳蓋 2. 中脳被蓋 3. 大脳脚（赤松）
- 第7回 橋：1. 橋底部 2. 橋被蓋  
延髄：1. オリーブ 2. 錐体交叉 3. 網様体  
小脳：1. 構成[区分] 2. 皮質と髄質 3. 小脳脚（赤松）
- 第8回 末梢神経系：1. 脊髄神経とは 2. 脊髄神経前枝 3. 脊髄神経後枝（赤松）
- 第9回 末梢神経系：(脊髄神経の説明) 1. 腕神経叢の構成 2. 腕神経叢の障害 3. 自律神経系（柴田）
- 第10回 末梢神経系（続き）：1. 脳神経の総論 2. 脳神経の各論（第I～XII脳神経）（柴田）
- 第11回 下行性伝導路：1. 錐体路（皮質脊髄路、皮質核路） 2. 錐体外路 3. 反射路（柴田）
- 第12回 上行性伝導路：1. 温痛覚（外側脊髄視床路） 2. 粗大触圧覚（前脊髄視床路）  
3. 精細触圧覚・意識にのぼる深部感覚（長後索路） 4. 無意識的な深部感覚：脊髄小脳路・副楔状束小脳路（柴田）
- 第13回 上行性伝導路（続き）：特殊感覚の伝導路  
総復習のための練習問題配布（柴田）
- 第14回 総復習1：復習のための練習問題（国家試験形式）とその解説（柴田）
- 第15回 総復習2：復習のための練習問題（国家試験形式）とその解説（柴田）

## ■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）100%】

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業を受けた内容について、板書したノート、配布資料、教科書、ネッター解剖学アトラスを用いて、必ず復習を毎回行い、分からない内容がないようにして下さい。分からないことは自分で調べ考えてみて、解決がつかない場合は遠慮なく質問して下さい。

## ■ 教科書

書名：(基礎解剖学で購入済み) PT・OT・STのための解剖学

著者名：渡辺正仁 監修

出版社：廣川書店

書名：(基礎解剖学で購入済み) ネット解剖学アトラス

著者名：相磯貞和 訳

出版社：南江堂

書名：「消して忘れない解剖学要点整理ノート」

著者名：井上 馨：松村讓兒

出版社：羊土社

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

授業中は私的な会話は厳禁です。

## ■ 講義受講にあたって

色鉛筆やマーカーなど色分けできる筆記用具を毎回、持ってきて下さい。色は4色あれば十分です。